

第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

① 三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

② 評価調査者研修修了番号

S15055 SK15214

③ 施設の情報

名称：立正青葉学園	種別：児童養護施設
代表者氏名：岸本 康學	定員（利用人数）：30名
所在地：岡山県津山市西寺町77番地	
TEL：0868-22-2317	ホームページ：
【施設の概要】	
開設年月日：昭和30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：宗教法人 妙勝寺	
職員数	常勤職員： 26 名 非常勤職員 5 名
専門職員	（専門職の名称） 6 名 基幹的職員
	家庭支援専門相談員 里親支援専門相談員
	被虐待児個別対応職員 心理療法担当職員
施設・設備 の概要	（居室数）23室 （設備等）台所、調理室、静養室
	音楽等、療育ルーム、心理相談室、 面談室、多目的室、研修室

④ 理念・基本方針

<p>（理念） 私たちは、すべての子どもの最善の利益の実現をめざし、釈尊の大慈悲の心をもって、その養育にあたります。</p> <p>（基本方針）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 私たちは、誇りと使命感をもち、子どもたちを優しくそして暖かく保護します。2. 私たちは、子どもたちが安全に安心した生活を営むことができるよう、子どもの生命と人権を守ります。3. 私たちは、自らの人間性を高め自己研鑽につとめ、専門性の向上をはかります。4. 私たちは、「チーム青葉」の一員としてお互いを高めあい相互連帯と、協調をはかります。5. 施設のもつ専門知識と技術を活かし、地域社会と協力し、子育て支援につとめます。
--

⑤施設の特徴的な取組

平成 27 年度 4 月より、本園 2 ユニット、分園 2 ホーム、全ユニット小規模グループケアの認可を受け、限りなく家庭に近い環境、支援を目指している。スタッフ一人一人の専門性の向上を目指し、園内研修(年 3~4 回)を実施し、直接処遇職員以外のスタッフも専門的な知識を得る場となっている。また、社会的養育支援室を設置し、個別支援、家庭支援、里親支援、心理支援、療育支援の充実を図り、子ども一人一人の声を大切にした幅のある支援を目指している。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28 年 11 月 30 日 (契約日) ~ 平成 29 年 6 月 20 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (平成 26 年度)

⑦総評

◇特に評価の高い点

- ・感染症の予防に配慮し、オゾン発生装置を廊下に設置している。
- ・子どもの心理ケアの更なる充実を目指し、平成 29 年度は心理療法士の配置を予定している。
- ・職員が明るく子どもと同じ目線に立つことを基本に、養育・支援している。また、些細なことも褒めることで子どもの自己肯定感を育てている。
- ・職員は毎週、各自の実践を振り返り子どものプライバシー保護と権利を擁護することに努めている。
- ・組織としての学びを共有するために、異職種とも研修する機会を企図している。

◇改善を求められる点

- ・ビジョンや運営をはじめ、策定すべき規定や取組みの方向性等を文書化するとともに、職員間で共有することが期待されます。
- ・保護者や子どもへの周知は困難を伴いますが、説明責任を果たすという原則に立ち返り、より丁寧な対応や説明の工夫が期待されます。
- ・課題解決のために職員の意見を聞いたり、職員間で検討する場を設けたりするなど、組織としての取組みを充実することが求められます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

我が園のウィークポイントの洗い出しには非常に参考になりました。社会のニーズに答える姿勢を明文化することの大切さ、組織での分権化を進めることでより強力なチーム青葉となれるよう、日々精進していきたいです。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者評価結果
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 事務室・職員室・各ユニットの入り口に理念・基本方針を掲示するとともに、パンフレットや広報誌に記載している。毎月の職員会議でも取り上げ、周知と共有に努めている。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 社会福祉事業全体の動向を把握し、施設の置かれている立場と経営の方向性について適切に検討している。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 経営環境と経営状況の把握に基づき、取組を進めるべく努力しているが役員間の共有と職員への周知が十分ではない。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		

4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント> 社会福祉法人化を目指したビジョンを持っているが、具体的な計画の策定には至っていない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント> 単年度の計画は、中・長期の計画を十分に踏まえたものとはなっていない。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント> 職員が参画して事業計画を策定しているが、実施状況の評価と分析が十分にはできていない。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント> 機会を見つけ、保護者に口頭で説明しているが、周知には至っていない。子どもへの説明は今後の課題である。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント> 養育・支援の質の向上に向けた取組みが組織的に行われ、自己評価とそれに基づく第三者評価を受審し、今後の方向を検討している。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント> 評価結果を分析し、施設として取り組むべき課題について職員間で検討しているが文書化には至っていない。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し、理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

施設長は、職員に対して自らの役割と責任を明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的に取り組んでいる。		
II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、施設としての取組みに十分な指導力を発揮している。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために、人事・財務・職場環境づくり等に十分な指導力を発揮している。		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 施設の目標とする養育・支援の質を確保するために、計画的に人材の確保を行い、ゆとりのある人員配置がなされている。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 理念や方針、基準に基づく総合的な人事管理をしている。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
<コメント> 定期的に職員の意向や就業状況を把握し、必要に応じて改善する等、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 一人ひとりの職員の育成に向け、自己申告書に基づく目標管理を行っているが、期待する職		

員像と申告に若干のずれが見られる。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ ⓑ ・c
<p><コメント></p> <p>施設として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され研修が実施されているが、計画の評価や見直しに課題がある。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	ⓐ ・b・c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりの職員について、教育・研修の機会が確保され、適切な教育と研修が実施されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	ⓐ ・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生等の養育・支援に関する専門職としての研修や育成についての体制を整え、効果的なプログラムを用意するなど、積極的に取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ ⓑ ・c
<p><コメント></p> <p>広報誌等を活用して事業や財務等に関する情報について公表しているが、回数や方法等に工夫が求められる。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	ⓐ ・b・c
<p><コメント></p> <p>公正で透明性の高い適正な経営及び運営のための取組みが行われている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	ⓐ ・b・c
<p><コメント></p> <p>町内会に加わり各種行事に参加して交流を深めるとともに、ボランティアの受け入れも積極的に行っている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ ⓑ ・c

<p><コメント> ボランティアを受け入れるための基本姿勢を明確にし、受け入れ体制も整っているが、明文化にまでは至っていない。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> 子どもによりよい養育・支援を実施するために必要となる関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関との連携が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 講演会や研修会、また地域のまちづくりに貢献している。サークル活動や地域住民が自由に参加出来る多様な支援活動の実施を検討している。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・Ⓒ
<p><コメント> 地域の福祉ニーズの把握に努めているが、これに基づく公益的な事業や活動を実施するには至っていない。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> 子どもを尊重する養育・支援についての基本姿勢が明示され、施設内で共通理解するための取組みがされている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規定やマニュアルが整備されているが、事案発生時の取組みに課題がある。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> 子どもや保護者が養育・支援を利用するために必要な情報を積極的に提供している。</p>		

31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・㉔
<p><コメント> 養育・支援の開始・過程において同意を得るにあたり、懇切丁寧に説明をしているが様式は定めていない。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント> 養育・支援の内容の変更や措置変更、地域・家庭への移行等にあたりその継続性に配慮し、窓口職員を中心に必要な連携を細やかに実施している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り組みを行っている。	a・㉒・c
<p><コメント> 子どもの満足を把握する仕組みを整え、その結果を把握しているが、子ども参画のもとでの検討には至っていない。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉓・c
<p><コメント> 苦情解決の仕組みが確立されているが、子どもや保護者へ周知する取組みに課題がある。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・㉔・c
<p><コメント> 子どもからの意見を積極的に取り上げ、自治会等の工夫もして課題解決に努めているが、周知に課題がある。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p><コメント> 子どもからの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㉕・c
<p><コメント> リスクマネジメント体制を確立し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析に努めているが、対応策の検討など職員への周知に課題がある。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉕・c
<p><コメント> 感染症の予防対策が講じられ、発生時等の緊急を要する子どもの安全確保について、施設として体制を整えているが、職員への周知に課題がある。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p><コメント> 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。水害を教訓にした備蓄を整えている。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a・㉑・c
<p><コメント> 養育・支援について、標準的な方法が文書化されているが、職員への周知と振り返りの共有に課題がある。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉑・c
<p><コメント> 標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定めているが、検証・見直しに課題がある。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a・㉑・c
<p><コメント> 子ども一人ひとりの自立支援計画を策定するための体制が確立しているが、部門を横断した関係職員の合議や振り返りの確認に課題がある。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p><コメント> 自立支援計画について、実施状況の評価と実施計画の見直しに関する手順を施設として定めて実施している。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p><コメント> 子ども一人ひとりの自立支援計画の実施状況が適切に記録され、職員間で共有化されている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p><コメント> 子どもに関する記録の管理についての規定が定められ、適切に管理されている。</p>		

内容評価基準（41項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		第三者評価結果
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	㉠・b・c
<p><コメント> 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	㉠・b・c
<p><コメント> 子どもの発達段階や個々の状況に応じて、出生や生い立ち、家族の状況等について、子どもに適切に知らせている。</p>		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・㉠・c
<p><コメント> 権利について正しく理解できるよう、日常生活の事例をとおして子どもに説明しているが資料は用いていない。</p>		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	㉠・b・c
<p><コメント> ボランティアの力も借りながら、異年齢集団の活動をとおして、個人の人格の尊厳を理解するとともに、自他の権利を尊重し共生できるよう支援している。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	㉠・b・c
<p><コメント> 体罰等を行わないよう徹底している。</p>		
A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・㉠・c
<p><コメント> 不適切なかかわりの防止と早期発見に日々、取り組んでいるが子どもへの周知に課題がある。</p>		

A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・ ⑥ ・c
<p><コメント> 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を細やかにしているが、マニュアル作成にまでは至っていない。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	① ・b・c
<p><コメント> 子どもや保護者の思想や信教の自由が保障されている。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受け止め、不安の解消を図っている。	a・ ⑥ ・c
<p><コメント> 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受け止めようとしているが、回復に関する課題への取り組みに弱い面がある。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	① ・b・c
<p><コメント> 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について自治会等も活用しながら共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。</p>		
A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	① ・b・c
<p><コメント> 日々の暮らしや余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え、生活できるよう自治会活動の工夫などにより支援している。</p>		
A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	① ・b・c
<p><コメント> 子どもの状況や発達に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。</p>		
A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	① ・b・c
<p><コメント> 家庭復帰にあたり、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう、担当者を中心に復帰後の支援を行っている。</p>		

A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>高校進学が困難な子どもや高校中退の子どもへの措置の継続や高校卒業後の措置延長を関係機関と連携し、継続して支援している。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもが安定した社会生活を送ることができるよう、リービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。</p>		

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を通してなされるよう、個々に応じた養育・支援がなされている。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自ら判断し行動することを大切にしているが、失敗経験から学ばせる姿勢に弱さがある。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>発達段階に応じた学びや遊びの場を保障すべく、ボランティアの支援も入れながら取り組んでいる。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、地域との交わりを通して社会常識及び社会規範等、様々な生活習慣が習得できるよう、養育・支援している。</p>		

A-2-(2) 食生活		
A⑳	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	㉑・b・c
<コメント> 食事は団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう時間・栄養・盛り付け等への工夫をしている。		
A㉑	A-2-(2)-② 子どもの健康状態や嗜好など、一人ひとりに配慮した食事を提供している。	㉑・b・c
<コメント> 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。		
A㉒	A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・㉑・c
<コメント> 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう、食育を推進しているが研修内容に弱い面がある。		
A-2-(3) 衣生活		
A㉓	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㉑・b・c
<コメント> 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得するとともに衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。		
A-2-(4) 住生活		
A㉔	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	㉑・b・c
<コメント> 居室など施設全体がきれいに整美されている。		
A㉕	A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㉑・b・c
<コメント> 子ども一人ひとりの居場所や個人の空間が確保され、安全、安心を感じる場所となるように工夫している。		
A-2-(5) 健康と安全		
A㉖	A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	㉑・b・c
<コメント> 発達段階に応じ、身体健康について自己管理ができるよう支援している。		
A㉗	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	㉑・b・c
<コメント>		

一人ひとりの子どもに応じて医療機関と緊密に連携して心身の健康を管理するとともに、必要がある場合には適切に対応している。		
A-2-(6) 性に関する教育		
A②⑨	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・ ㉑ ・c
<p><コメント></p> <p>同性対応、個別対応を中心に他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けているが、カリキュラムに課題がある。</p>		
A-2-(7) 自己領域の確保		
A③⑩	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	㉒ ・b・c
<p><コメント></p> <p>できる限り他児との共有物をなくし、個人所有とするようにしている。</p>		
A③⑪	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	㉓ ・b・c
<p><コメント></p> <p>成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。</p>		
A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A③⑫	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	㉔ ・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの問題行動上の問題及び問題状況に対し、個に応じて適切に対応している。</p>		
A③⑬	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように施設全体で取り組んでいる。	㉕ ・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように全ての職員が一体となって取り組んでいる。</p>		
A③⑭	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	㉖ ・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、施設内で子どもの安全が確保されるように努めている。</p>		
A-2-(9) 心理的ケア		
A③⑮	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	㉗ ・b・c
<p><コメント></p> <p>心理的なケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A③⑯	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	㉘ ・b・c

<p><コメント> 学習環境の整備に努め、ボランティアの支援も得ながら一人ひとりに応じた学習の支援を行っている。</p>		
A③⑦	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㉑・b・c
<p><コメント> 子どもが進路の自己決定ができるよう、きめ細やかに支援している。</p>		
<p><コメント> 地域への支援も受けながら、職場実習や体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。</p>		
<p>A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり</p>		
A③⑨	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	㉑・b・c
<p><コメント> 家庭支援専門員が中心となり、家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制づくりを確立している。</p>		
<p>A-2-(12) 親子関係の再構築支援</p>		
A④⑩	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	㉑・b・c
<p><コメント> 関係機関とも連携し、親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>A-2-(13) スーパービジョン体制</p>		
A④⑪	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	㉑・b・c
<p><コメント> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に積極的に取り組んでいる。</p>		